

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズplus		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 81名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりに寄り添った支援の提供	計画書作成会議ならびにケース会議などを通じて、お子様や保護者様のニーズを踏まえた計画作成や療育の提供を行っています。お子様が主体的に活動を組み立て、挑戦できる療育の提供を行っています。	計画書作成会議ならびにケース会議時に動画を使うなどお子様の現状を捉え、より細やかな支援の実施を図ります。
2	多職種連携での支援	OT,ST,保育士が個別計計画書を基にそれぞれの視点や強みを活かした療育の提供しています。	社内外での研修参加でスキルアップを図り、療育の質向上の努めます。
3	個別療育と集団療育の実施	必要に応じて支援の内容が選択できるよう個別療育と集団療育を実施しています。	集団療育では、参加されるお子様に合わせて、療育メニューを見直すなど今よりも更に柔軟な対応を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者がスムーズに支援を受けていただける体制づくり	利用のご希望を伺った際、待機待ちになることが多く、すぐに利用開始していただけない状態です。	空き枠の提示を行うなど少しでも早く利用して頂けるよう利用枠の整理を行っていきます。 人員確保による支援枠の拡大を目指します。
2	コミュニケーション面の強化 ・保護者様と指導員 ・保護者様同士	今年度は、研修会や勉強会の回数が少なく、保護者様とのかわりが療育毎のフィードバックとご要望があった際の家族支援加算のみとなり関わりが少ない状況です。	勉強会、研修会を定期開催することで、関わり場の設定できるようにしていきます。
3	事業所の取り組み等の活動発信	自己評価やイベント等の配信は随時行っていますが配信できていない取り組みも多くあります。	配信する項目を決め、事業所の取り組みや活動の詳細が配信ができるよう取り組み、情報開示ができる施設運営に努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズplus		公表日		2025年3月15日	
				利用児童数		2025年1月4日 回収数 35	
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	1	0	0	楽しく通っています。 療育内容によっては狭く感じることも あります。 ・お子様が思いきり体を動かせるよう 環境設定を行ってまいります。 感覚統合で十分に身体を動かすために 適した人数設定にし、スペースを確保 しております。	感覚統合で十分に身体を動かすために適 した人数設定にし、スペースを確保して おります。 お子様が思いきり体を動かせるよう環境 設定の配慮を行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	0	0	0	寄り添って下さっています。	今後も1対1での個別療育の提供を行い、 お子様がいろんな遊びに挑戦できるよう 支援を行ってまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	7	1	1	2F、3Fになると車椅子では難しい と思います。	建物の構造上エレベーターの設置が難し く、車いすや足が不自由な方にはご不便 をおかけしております。療育室までの移 動に関しましては保護者様同意の下、指 導員が介助させていただき、少しでもス ムーズに移動して頂けるよう工夫をして いきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	1	1	0	裸足なので、床の衛生面が気になりま す。	毎日掃除を実施し、今後も事業所内を清 潔に保てるよう努めます。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	35	0	0	0	各個人にあった計画を組んでもらって るように思います。	計画書作成会議を行い保護者様やお子様 のニーズや課題を分析し計画の立案を 行っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	34	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いますか。	33	1	0	1	よく考えて計画をたてて頂いてます。	計画書作成会議を行い保護者様やお子様 のニーズや課題を分析し計画の立案を 行っております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	33	1	0	1	寄り添って下さっています。	引き続き、放課後等デイサービスガイド ラインの示す支援内容を具体的に示して いきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	33	1	0	1	UT以外、通っていません。	個別支援支援計画に乗っ取り、活動プロ グラムが固定化されないよう工夫を行っ ていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機 会がありますか。	34	1	0	0		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	34	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	33	1	0	1	詳しく説明して頂きました。	要点を押さえ、分かりやすくご説明出来 るよう、今後も努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	28	4	0	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況 について共通理解ができていると思いますか。	35	0	0	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	7	1	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	5	6	13		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	4	0	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	3	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	2	1	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	2	1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	2	1	5	事故が発生したことがない。	事故が起これないよう安全管理に努め、万が一事故が起こった際には速やかに対応できるよう努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	0	0	0	とても楽しみにしています。毎回とても楽しみにしています。通所をとても楽しみにしています。	ありがとうございます。今後もお子様が主体的に活動に取り組めるよう支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	0	0	0	しっかりフォローして頂いてます。イベントでお菓子のプレゼントの内容につきまして、中国製造のジュースやタイ製造のお菓子などは抵抗があります。あと、今後製作などをするときにはトイレットペーパーの芯は衛生的によくないと思うので違うもので代用してください。本事業所へ大変満足しており、利用できることを感謝している。とても楽しく通所しています。一対一で関わり、対話のやりとりを学ばせていただける場所はここしかないので毎回貴重な1時間だと思って通わせていただいています。いつもありがとうございます。	製造は国内産の物を購入するようにしております。しかし原材料に外国産の物がありました。原材料に関しましても、できうる範囲で国内産の物を使用した飲食物を提供できるよう心がけていきます。イベント前に事前に成分表をお配りしますのでその際にご相談いただけます幸いです。トイレットペーパーについては、衛生上使用禁止にしており、今後も使用予定はありません。今後も一人一人寄り添った支援の提供を心がけてまいります。指導員の知識向上に邁進し、ご利用者様と保護者様が安心して通所していただけるよう取り組みます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
リハビリ発達支援ルームUTキッズplus		2025年 3月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	マットがある半面とそれ以外の半面で使用の仕方を工夫しています。	引き続き、1対1の個別療育の良さを十分味わっていただけるようお子様に適した環境設定の工夫を行っています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	法律に則った人員配置をしていると思うが現場からの体感では少なく感じるように思うことがあります。休みが重なったりすると足りぬと感じる時あります。	法律に則った人員配置をしています。人員が増えることでより多くの人に支援が行えるように人員確保に努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	建物の構造上、エレベーターは設定できていません。必要に応じて別室での療育に変更する等、対応させて頂いております。	建物の構造上エレベーターの設置が難しく、車いすや足が不自由な方にはご不便をおかけしております。療育室までの移動に関しましては保護者様同意の下、指導員が介助させて頂き、少しでもスムーズに移動して頂けるよう工夫をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	療育室の空間を仕切る等で工夫しています。必要に応じて移動できる際には別室での療育に変更しています。	療育室の空間を仕切る等で工夫しています。必要に応じて移動できる際には別室での療育に変更しています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	緊急性のあること等は、その都度共有しておりそれ以外は日々記録や会議等で共有しています。	個別療育となるためそれぞれのスタッフが支援内容を立案し、提供を行っています。必要に応じて引継ぎや必要に応じた情報共有を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	1	極力すぐに打ち合わせをしたいが、療育との間の時間的余裕がない時は出来ていないので別日など時間が空いた時にすることもあります。その日には難しい場合があるが、気づいた点や支援の方法などを共有することはできています。	主に日々記録などで情報共有を行っているためそれを上手く活用した情報伝達や共通理解ができるよう会議を行い書式を決定していくなど対策を講じていきたいと思います。また、引き続き必要に応じて引継ぎや必要に応じた情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	今日は何をして遊びたい等、お子様が決めた活動を中心に課題に応じた療育を展開しているように工夫しております。	今後もお子様が主体的に療育を展開をできるような支援内容を工夫していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2	保護者送迎の事業所の為、特におこなっておりません。保育所等訪問事業により情報共有しております。	送迎を行っておりません。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	そのようなケースになれば情報共有していきたいと考えます。	そのようなケースになれば情報共有していきたいと考えます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	地域のイベント（UTフェス等）を開催しています。	現在、交流は行っていません。会社全体の取り組みとしてUTフェスを開催し、地域の交流機会提供に努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	自立支援協議会が開催して下さる放課後等デイサービス・児童発達支援事業所 合同説明会に参加しています。	自立支援協議会には代表者が出席しておりますが、今後は参加できる人員を増やしていきたいと思っています。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	現在行っておりません。	現在、交流は行っておりません。 ニーズに応じて検討し対応してまいります。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			食事提供 無×	療育では食事の提供は行っておりません。イベント時におやつを食べることもありますが、その場合には保護者様にアレルギーの確認を必ず行うように徹底しております。	現在、食事提供は行っておりませんが、イベント等で食事を提供する際は、毎時確認と対応ができるよう取り組みます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0			

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	計画書には記載しておりません。インテークの際にお話させて頂いております。	現在身体拘束を必要とする利用児様がおられないため、計画書記入はしておりません。必要に応じて計画書作成時に記入を行ってまいります。
----	--	---	---	--------------------------------------	--